

館 報

No.14



令和元年度
埼玉県立さきたま史跡の博物館

目 次

1	設置の目的・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	沿革・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3	埼玉県立史跡の博物館の使命・・・・・・・・	2
4	事業・・・・・・・・・・・・・・・・	2
5	組織・・・・・・・・・・・・・・・・	2
6	史跡埼玉古墳群保存整備協議会委員・・・・・・・・	3
7	予算・・・・・・・・・・・・・・・・	3
8	施設・設備の概要・・・・・・・・	4
9	さきたま風土記の丘・・・・・・・・	6
10	平成30年度事業報告・・・・・・・・	6
11	令和元年度（平成31年度）事業計画・・・・・・・・	9
12	入館者数等・・・・・・・・	13
13	展示施設・ボランティア活動等・・・・・・・・	15
14	関係刊行物・・・・・・・・	16
15	企画展等・・・・・・・・	17
16	利用案内・・・・・・・・	18



さきたま
埼玉古墳群

1 設置の目的

県名発祥の地「埼玉」は、延喜式内社前玉神社、石田三成による忍城水攻めの遺構である石田堤、忍藩主松平家の菩提寺天祥寺など、豊かな歴史遺産に恵まれている。古くから埼玉の地の象徴とされてきた埼玉古墳群は、5世紀後半から7世紀前半にかけて築造された大型前方後円墳が集中する日本有数の大古墳群である。昭和13年には国史跡に指定され、平成元年・同25年・同30年の追加指定を経て、約26.5haの指定面積を誇っている。

昭和42年には、古墳群を中心とした広い区域を確保し、その環境を整備して古墳群のよりよい保存と一層の活用を図るため「さきたま風土記の丘」を建設した。その建設計画の一環として古墳群等から出土した考古資料や郷土の民俗資料を保護・活用するため「さきたま資料館」を昭和44年（1969）に設置した。

平成16年度に県教育委員会では、県立博物館施設の再編整備計画を策定し、8つの博物館施設を専門分野別に4つのグループに再構築することとした。当館は、歴史資料館（現・嵐山史跡の博物館）とともに「史跡系博物館」グループと位置付けられた。古墳を中心とする史跡に関する資料と考古資料の収集、保管及び調査研究を行うとともに、その活用を図るための博物館と明確にされた。民俗資料の博物館（現・歴史と民俗の博物館）への移動作業や館内展示改装工事を行い、平成18年4月1日から「さきたま史跡の博物館」としてリニューアルオープンした。

2 沿革

昭和41年5月	用地買収開始	平成9年3月	将軍山古墳保存整備事業終了 （平成3～8年度事業）
昭和42年4月	さきたま風土記の丘建設事業開始 （42～43年度継続事業）	4月	将軍山古墳展示館開館
11月	二子山古墳周堀復原調査	平成10年11月	稲荷山古墳発掘調査30周年・金錯 銘発見20周年記念事業開始 （大宮ソニックシティ大ホール）
昭和43年8月	稲荷山古墳発掘調査		
11月	二子山古墳周堀復原	平成15年9月	稲荷山古墳鉄剣発見35周年記念講演会 （行田市教育文化センターみらい）
昭和44年3月	さきたま資料館落成		
10月	さきたま資料館開館	平成16年7月	入館者数累計500万人突破
昭和45年3月	奥の山古墳周堀調査、復原	平成18年3月	企画展示室改修工事竣工
昭和48年3月	民俗資料収蔵庫・ホール兼講堂落成	4月	行田県土整備事務所より古墳公園の委譲 移管を受ける（23.5ha）
11月	丸墓山古墳、稲荷山古墳周堀調査	4月	さきたま史跡の博物館リニューアルオープン
昭和49年11月	天王山・梅塚古墳他周堀、二子山 古墳外堀調査	平成19年3月	稲荷山古墳前方部復原整備終了 （平成12～18年度事業）
昭和50年2月	丸墓山古墳周堀復原	3月	史跡埼玉古墳群保存整備基本計画策定
昭和51年3月	稲荷山古墳出土品一括県文化財に指定	3月	体験工房完成
4月	さきたま古墳公園第1期供用開始 （県道南側9.3ha）	4月	奥の山古墳周堀調査開始
8月	博物館法による博物館登録（8月2日）	平成20年5月	行田県土整備事務所より公園用地 拡張移管を受ける 同月供用開始（5.7ha）
11月	稲荷山古墳内堀復原		
昭和52年9月	礼宮文仁親王殿下、紀宮清子内親王殿下 御来館	平成21年3月	本館全体改修及び耐震補強工事竣工 秋篠宮殿下、同妃殿下御来館
昭和53年5月	浩宮徳仁親王殿下御来館	平成22年4月	鉄砲山古墳周堀調査開始
9月	稲荷山古墳出土鉄剣金象嵌銘発見、公表	平成23年7月	行田県土整備事務所より公園用地 拡張移管を受ける 同月供用開始（5.5ha）
昭和55年9月	収蔵展示棟落成		
11月	収蔵展示棟開館、金錯銘鉄剣一般公開	平成24年5月	奥の山古墳周堀復原整備事業終了 （平成21～24年度事業）
12月	皇太子殿下・皇太子妃殿下行啓	平成25年4月	行田県土整備事務所より公園用地 拡張移管を受ける 同月供用開始（641㎡）
昭和56年6月	稲荷山古墳出土品一括重要文化財に指定	平成25年9月	二子山古墳発掘調査開始
昭和58年4月	「北武蔵の農具」重要有形民俗文化財に 指定	平成26年3月	入館者類計600万人突破
5月	天皇陛下行幸	平成27年3月	二子山古墳内堀埋立工事終了 （平成24～26年度事業）
6月	稲荷山古墳出土品一括国宝に指定	平成29年3月	稲荷山古墳礫櫛陶板整備事業終了 （平成26～28年度事業）
昭和59年3月	稲荷山古墳礫櫛復原		
昭和60年3月	稲荷山古墳保存整備事業終了 （昭和57～59年度事業）	平成30年4月	営繕・公園事務所より公園用地 拡張移管を受ける 同月供用開始（1,098㎡）
昭和63年3月	丸墓山古墳保存整備事業終了 （昭和60～63年度事業）		
昭和63年3月	行田市所有の古墳6基、県に譲与される	平成31年2月	埼玉古墳群史跡指定80周年・稲荷山古墳発掘 調査50周年・鉄剣銘文発見40周年記念講演会 （埼玉会館）
平成3年9月	移築民家（山崎家）曳家整備完了		
平成4年4月	瓦塚古墳保存整備事業終了 （昭和63年～平成3年度事業）	平成31年3月	史跡埼玉古墳群保存活用計画策定
平成6年3月	県内古墳詳細分布調査事業終了 （平成元～5年度事業）		

3 埼玉県立史跡の博物館の使命

県立史跡の博物館は、国指定史跡「埼玉古墳群」及び「比企城館跡群 菅谷館跡」の保存と整備・活用を図ることにより、県民に快適な歴史空間を提供します。

また、埼玉の考古資料の収集保管・調査研究・展示公開・普及啓発等を行い、県民の多様な学習意欲に応え、心豊かな県民意識の醸成と新たな文化の創造に寄与する博物館です。

【さきたま史跡の博物館】

- さきたま史跡の博物館は、史跡『埼玉古墳群』及び国宝『武蔵埼玉稲荷山古墳出土品』をはじめとする貴重な文化を将来にわたって確実に保存、管理し、その活用を図ります。
- また、埼玉の歴史を彩る数々の史跡や遺跡、また関係する資料の収集・保管・調査研究を進めることを基本的使命とします。
- (1) 埼玉古墳群の調査を進め、史跡整備を継続、推進するとともに、稲荷山古墳から出土した「金錯銘鉄剣」をはじめとする出土品を、安全に公開していきます。
 - (2) 9基の古墳を中心とした37万㎡を超える古墳公園を、来園者の方々が安心して利用いただけるよう維持・管理し、いにしへのロマンを感じてもらえる快適な史跡空間として提供していきます。
 - (3) 埼玉古墳群をはじめとする県内の史跡や遺跡、考古資料に関する総合的な博物館として、関係資料の収集、保管、調査、研究を進め、各市町村等と連携しながらその成果を企画展や講演会等で公開します。
 - (4) 埼玉古墳群や館有資料などを、生涯学習や学校教育において広く活用する事業を積極的に展開します。
 - (5) 史跡の博物館として、県内の史跡や遺跡の調査・保存・活用について、市町村等が実施する事業を支援します。

4 事業

- 当館は、目的達成のために次の事業を行う。
- (1) 埼玉古墳群を中心にその周辺から出土した考古資料の保管・展示を行う。
 - (2) 考古資料に関する専門的かつ技術的な調査研究を行い、報告書、図録等を刊行する。
 - (3) 考古資料に関する講演会、講習会、研究会等を開催する。
 - (4) 埼玉古墳群の調査研究及び整備を行う。
 - (5) さきたま古墳公園の管理を行う。
 - (6) 埼玉古墳群や館有資料を、生涯学習や学校教育に活かす学習支援活動を行う。

5 組織

- (1) 組織表（職員19名、非常勤職員5名）
- 館長(1)

副館長(1)

総務・公園管理担当(8)
(非常勤職員3名を含む)

主席学芸主幹(1)

広報・学習支援担当(4)

資料・展示担当(6)
(非常勤職員2名を含む)

史跡整備担当(3)
- (2) 職員名簿
- | | | |
|-------------|----------|----------------------------|
| 館長 | 村田 章人(兼) | (広報・学習支援担当、資料・展示担当、史跡整備担当) |
| 副館長 | 石原 雅樹 | 主席学芸主幹 関 義則 |
| (総務・公園管理担当) | | 広報・学習支援担当 担当課長 大谷 直紀 |
| 担当部長 | 大木 久美子 | 担当課長 森 淳史 |
| 担当課長 | 野村 浩(兼) | 主 事 萩原 寛人 |
| 担当課長 | 腰高 憲博 | 学芸員 川又 奈津記 |
| 主 任 | 菊池 拓真 | 学芸主幹 中山 浩彦 |
| 主 事 | 中川 遥香 | 学芸主幹 野中 仁(兼) |
| 嘱 託 | 新井 敏夫 | 学芸員 青笹 基史 |
| 嘱 託 | 青木 重二 | 学芸員 村田 駿 |
| 嘱 託 | 益田 忠浩 | 嘱 託 高野 寛 |
| | | 嘱 託 大谷 嘉明 |
| | 史跡整備担当 | 学芸主幹 栗岡 真理子 |
| | | 主任学芸員 山田 琴子(兼) |
| | | 学芸員 ナワビ 矢麻 |

※(兼)は、嵐山史跡の博物館との兼務職員

6 史跡埼玉古墳群保存整備協議会委員 (敬称略・50音順 平成31年3月現在)

青木 繁夫 (東京藝術大学客員教授) 佐藤 信 (東京大学大学院教授)
 石島 きく江 (行田市文化財保護審議委員) 高久 健二 (専修大学教授)
 井上 尚明 (立正大学文学部講師) 田中 裕 (茨城大学教授)
 柿沼 幹夫 (元埼玉県立自然史博物館長) 吉野悠一郎 (元埼玉県東松山県土整備事務所副所長)
 梶島 邦江 (元埼玉大学教授) 若狭 徹 (明治大学文学部准教授)

7 予 算

(1) 令和元年度 (平成31年度) 当初予算

さきたま史跡の博物館管理費	35,500
さきたま古墳公園管理費	84,693
小 計	120,193

イ 特定事業費関係

(千円)

埼玉古墳保存整備事業 (国交付決定事業費)	21,816
小 計	21,816

(2) 予算の推移

ア 建設費

(千円)

年 度	事 業 費	予 算	年 度	事 業 費	予 算
昭和 42～43	さきたま風土記の丘建設費 (園路造成、古墳整備、資料館建設、周堀復原、民家移築等)	83,670	平成 5～8	将軍山古墳展示館建設費	98,450
昭和 47	さきたま資料館増築費	50,000	平成 17	企画展示室改装工事	69,738
昭和 54～55	さきたま資料館収蔵展示棟建設費	236,285	平成 18	情報・体験学習室整備費	21,841
			平成 19	移築民家屋根等改修工事	15,176
			平成 20	本館全体改修及び耐震補強工事	170,207
平成 5	さきたま資料館玄関ホール改修費	49,272	平成 29	将軍山古墳展示館改修工事	28,640

イ 整備費

(千円)

年 度	事 業	予 算	年 度	事 業	予 算
昭和 44～53	さきたま古墳公園整備 (奥の山古墳周堀復原、丸墓山古墳周堀復原、稲荷山古墳内堀復原、公園整備)	205,178	平成 23	埼玉古墳群保存整備 (奥の山古墳整備工事・鉄砲山古墳発掘調査・周辺確認調査)	43,577
53	稲荷山古墳出土品保存処理	3,070			
54	金錯銘鉄剣恒久保存処理	3,126	24	〃 (奥の山古墳整備工事・鉄砲山古墳発掘調査・周辺確認調査)	23,320
54～55	資料館整備費 (鉄剣等展示ケース製作及びディスプレイ)	61,289	25	〃 (奥の山古墳報告書・二子山古墳整備工事・二子山古墳・鉄砲山古墳発掘調査・周辺確認調査)	29,642
	金錯銘鉄剣レプリカ製作	9,741			
54～58	さきたま古墳公園整備	192,443	26	〃 (稲荷山古墳礫模模型製作・二子山古墳整備工事・鉄砲山古墳発掘調査・補足調査)	26,769
57～59	埼玉古墳群保存修理 (稲荷山古墳)	30,000			
60～62	〃 (丸墓山古墳)	30,000	27	〃 (稲荷山古墳礫模模型改修工事・鉄砲山古墳・二子山古墳発掘調査・補足調査)	23,622
昭和 63 ～平成 3	〃 (瓦塚古墳)	41,104			
平成 2	埼玉古墳群出土品複製 (馬冑復原、水鳥埴輪レプリカ)	4,180	28	〃 (稲荷山古墳礫模模型改修工事・丸墓山古墳安全対策工事・鉄砲山古墳、二子山古墳発掘調査)	15,809
2～3	埼玉古墳群保存整備 (二子山古墳)	6,240			
3	〃 (旧山崎家曳家整備)	10,273	29	〃 (二子山古墳発掘調査・丸墓山古墳安全対策工事)	17,067
3～8	〃 (将軍山古墳)	290,727			
9～18	〃 (稲荷山古墳)	159,838	30	〃 (二子山古墳発掘調査・丸墓山古墳安全対策工事・奥の山古墳発掘調査・保存活用計画策定)	13,878
19	〃 (奥の山古墳)	13,800			
20	〃 (奥の山古墳・範囲確認調査)	23,406			
21	〃 (奥の山古墳・周辺確認調査)	26,105			
22	〃 (奥の山古墳・鉄砲山古墳周辺確認調査)	37,073			

ウ 発掘調査・報告書刊行費

(千円)

年 度	事 業	予 算	年 度	事 業	予 算
昭和 48	丸墓山古墳、稲荷山古墳周堀調査	3,163	昭和 63	歴史の道調査	4,000
49	天王山、梅塚古墳他周堀、 二子山古墳外堀調査	3,628	平成元～5	古墳詳細分布調査	19,199
54～56	稲荷山古墳発掘調査整理、報告書 刊行、辛亥銘鉄剣修理報告書刊行	15,270	8	将軍山古墳《史跡埼玉古墳群整 備報告書》「確認調査」編・付 編及び「保存・整備工事」編	3,246
54～57	埼玉古墳群発掘調査	24,046	18	稲荷山古墳発掘調査・保存整備 事業報告書	1,650
58～59	さきたま風土記の丘発掘調査	14,000	25	奥の山古墳整備報告書・保存整 備事業報告書	1,528
59	図録「北武蔵の農具」刊行	5,485	29	史跡埼玉古墳群総括報告書Ⅰ	1,128
60～63	さきたま風土記の丘発掘調査	30,000	30	稲荷山古墳礫櫛模型設置事業 報告書	240

エ 管理運営費

(千円)

年度	平成 18	平成 19	平成 20	平成 21	平成 22	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 1
予算	75,203	74,703	97,211	98,790	90,308	110,192	104,032	103,941	111,671	110,555	110,937	112,422	116,110	120,193

8 施設・設備の概要

(1) さきたま史跡の博物館

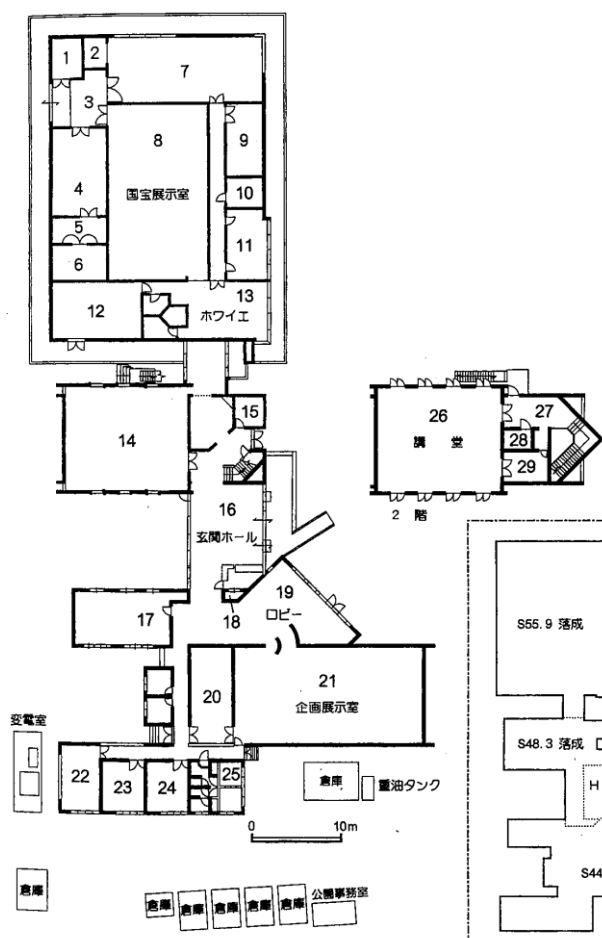
所在地 埼玉県行田市大字埼玉 4 8 3 4

敷地面積 37.6ha (古墳公園を含む)

建築面積 2,151.65 m² (本・新館 1,776.54 m² 移築民家 207.27 m² 機械室・車庫等 167.84 m²)

延床面積 2,386.58 m² (本・新館 2,011.47 m² 移築民家 207.27 m² 機械室・車庫等 167.84 m²)

構 造 本・新館 鉄筋コンクリート造り 一部2階建て／移築



番号	室 名	面積(m ²)	番号	室 名	面積(m ²)
1	機 械 室 1	16.10	16	玄関ホール	96.02
2	倉 庫 3	9.36	17	事 務 室	64.80
3	搬入荷解室	34.32	18	資 料 庫	2.88
4	考古資料収蔵庫	64.66	19	ロ ビ ー	119.60
5	前 室	13.42	20	文 書 庫	51.84
6	特別収蔵庫	25.62	21	企画展示室	224.64
7	学 芸 室	124.10	22	ミーティング室	32.04
8	国宝展示室	214.50	23	図 書 室 1	27.36
9	図 書 室 2	33.16	24	館 長 室	23.36
10	保 管 庫	15.12	25	管 理 室	34.20
11	会 議 室	36.71	26	講 堂	155.25
12	機 械 室 2	63.05	27	2階ロビー	22.02
13	ホワイエ	92.16	28	倉 庫 2	7.68
14	そ の 他 (新館計)	59.79 (802.07)	29	準 備 室	17.82
15	さきたま体験工房	155.25		そ の 他 (本館計)	162.76 (1,209.40)
	倉 庫 1	11.88		合 計	2,011.47

(2) 将軍山古墳展示館

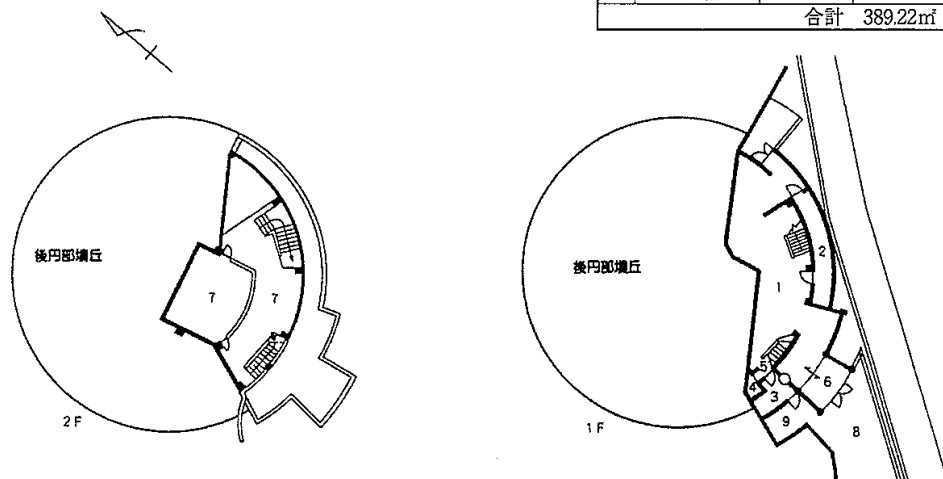
所在地 埼玉県行田市大字埼玉159

建築面積 210.24 m²

延床面積 267.74 m²

構造 鉄筋コンクリート造り2階建て

No.	室名	面積	
1	1F展示室	109.36m ²	148.35m ²
2	倉庫	16.88m ²	
3	事務室	8.28m ²	
4	トイレ	1.35m ²	
5	前室	2.18m ²	
6	風除室	10.30m ²	
7	2F展示室	74.47m ²	119.39m ²
	石室展示室	44.92m ²	
8	外構 ポーチ スロープ他	111.18m ²	121.48m ²
9	機械置場	10.30m ²	
		合計	389.22m ²



(3) 古墳公園内の主な施設

レストハウス・・・屋根付きのオープンスペースで、6人掛けテーブルが29脚と20脚の2か所がある。

はにわの館・・・行田市の外郭団体である(公財) 行田市産業・文化・スポーツいきいき財団が運営する施設で、「はにわづくり」の体験ができる。



9 さきたま風土記の丘

埼玉古墳群は、昭和 13 年 8 月 8 日に国の史跡に指定された。かつては小円墳等を含む古墳群であったが、明治から大正期の開墾によって小古墳の多くが失われ、指定範囲内には、現在 8 基の前方後円墳と 1 基の大型円墳が所在している。

昭和 41 年、埼玉県では、文化庁策定の「風土記の丘」建設構想に基づき、全国に先駆けて“ふるさと埼玉”のシンボルとして、埼玉古墳群を県直営の史跡公園「さきたま風土記の丘」とするため、建設計画を立て事業に着手した。さきたま風土記の丘建設計画は、用地買収・復原整備・環境整備・園路造成・資料館建設・展示資料整備を柱とするもので、県名発祥の地にふさわしい広域整備を目指したものであった。

昭和 53 年、稲荷山古墳から出土していた一振りの鉄剣から 115 文字の金錯銘文が発見され、学界のみならず国内外の注目を集めると、鉄剣を含む稲荷山古墳出土遺物は昭和 58 年に国宝に指定され、資料館を拡充して「国宝展示室」を新たに設置した。

その後、平成 9 年にはさらなる整備拡充を目指し、97 ヘクタールの都市計画決定を行った。拡張区域については、順次整備を進め、平成 30 年度末現在で、37.6 ヘクタール（史跡指定面積は 265,339.61 m²）が公園として整備され供用されている。

なお、従来は古墳部分については県教育委員会、その他の部分は県北部公園事務所（後に事務所の廃止に伴い、県行田県土整備事務所）が管理を担っていたが、平成 18 年度からは公園部分の維持管理が県都市整備部から県教育委員会に移管となり、古墳群を含めた公園全体の管理を当館で行っている。

10 平成 30 年度事業報告

（１）展示事業

ア 常設展示

（a）国宝展示室

国宝「武蔵埼玉稲荷山古墳出土品」を中心として、埼玉古墳群と周辺地域の出土品の展示のほか、埼玉県の古墳文化を理解する上で必要な関係資料を展示した。

（b）将軍山古墳展示館

将軍山古墳頂上部分と中段に埴輪（復原模型）を並べ、築造当初の古墳の様子を復原するとともに、館内の横穴式石室内部に出土遺物（復原模型）を展示して、埋葬当時の様子を再現した。

イ 企画展示

（a）テーマ展「律令国家がやってきた！ー交通・流通から見た奈良期の埼玉ー」

期間：4 月 1 日（日）～6 月 10 日（日） 62 日：17,172 人

内容：交通・流通をテーマに県内の奈良時代の遺跡を出土資料から紹介した。

（b）最新出土品展「地中からのメッセージ」

（埼玉考古学会及び（公財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団との共催事業）

期間：7 月 7 日（土）～9 月 2 日（日） 52 日：13,569 人

内容：県内で平成 29 年度に発掘調査された遺跡で、特に注目されたものを選んで展示を行った。

※最新出土品展にあわせて遺跡発掘調査報告会を 7 月 29 日（日）に実施した。

（c）企画展「埼玉の古墳 3 ー北足立・北埼玉・南埼玉・北葛飾ー」

期間：9 月 15 日（土）～11 月 14 日（水） 56 日：15,066 人

内容：埼玉県を 3 つの地域に分け、地域ごとの古墳を紹介する展示の第 3 回目。北足立・北埼玉・南埼玉・北葛飾地域の古墳出土資料を展示した。

（d）テーマ展「埼玉の平安ー“兵”の目覚めー」

期間：平成 31 年 2 月 23 日（土）～3 月 31 日（日） 32 日：5,148 人

内容：平安時代の特色を県教育委員会が所蔵する出土資料等から紹介した。

（e）ほるたま展 2018「土の中から顔だした」

期間：12 月 8 日（土）～平成 31 年 2 月 11 日（月） 54 日：5,835 人

内容：埼玉県埋蔵文化財調査事業団による長年の遺跡の発掘調査によって蓄積された貴重な資料や新しい発見の展示を行った。

（f）特別公開「埼玉古墳群の新発見資料～将軍山古墳～」

期間：12 月 4 日（火）～平成 31 年 2 月 17 日（日） 64 日：6,736 人

内容：X線CTスキャンの画像撮影により象嵌が施されていることが判明した円頭大刀柄頭などの新発見資料を特別公開した。

ウ ギャラリー展示

(a) 丸墓山古墳と石田堤展

期間：4月1日（日）～平成31年3月31日（日）

内容：石田三成が忍城水攻めに際し構築した堤や陣を張った丸墓山などをパネルで紹介した。

(2) 調査研究事業

史跡に関する資料、その他の考古資料の調査研究を行った。特に、埼玉古墳群とその周辺の古墳時代の実態を明らかにするための調査研究を行った。

その成果として紀要第12号を刊行した。

(3) 資料の調査・収集・整理・保管事業

ア 資料の収集

埼玉古墳群及び県内の史跡等に関する資料を収集した。

イ 資料の保管・管理

国宝「武蔵埼玉稲荷山古墳出土品」等の保存・保管のため、隔月で収蔵庫・展示室等の有害生物生息状況調査を行った。また、下記の期間に館内で有害生物防除を行った。

実施期間：6月19日（火）～20日（水）

(4) 埼玉古墳群の保存・整備事業

ア 保存・整備

埼玉古墳群の保存と整備に関して、史跡埼玉古墳群保存整備協議会を開催した。

二子山古墳の発掘調査、丸墓山古墳の安全対策工事、奥の山古墳追加指定地の発掘調査、鉄砲山古墳の出土遺物の整理作業を行った。

平成26年度から28年度にかけて実施した稲荷山古墳礫櫛模型設置事業に関する報告書を刊行した。

史跡埼玉古墳群保存活用計画を策定した。

イ 発掘調査現地説明会

埼玉古墳群の発掘調査成果や県内遺跡の保存・整備のための発掘調査に関する情報を一般向けに広く公開するため、二子山古墳の発掘調査現地説明会を実施した。

(5) 教育普及・広報事業

ア さきたま古代体験（親子向け）

「まが玉づくり」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・通年（8,088名）

「古代人に変身」・4月7日（土）・28日（土）・5月3日（木）・10月27日（土）・3月24日（日）（115名）

「火おこしに挑戦」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4月30日（月）・9月29日（土）・11月23日（金）（206名）

「ガラス玉づくり」・・・・・・・・・・・・・2月2日（土）・3日（日）・9日（土）・10日（日）・11日（月）
・16日（土）・17日（日）・23日（土）・24日（日）・3月2日（土）
・3日（日）・9日（土）・10日（日）（84名）

イ さきたま古代体験 総合教育センター江南支所連携事業

「古代米くらぶ」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6月2日（土）・10月20日（土）・11月24日（土）（103名）

ウ さきたま古代体験（子供製作体験）

「縄文土器をつくろう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7月24日（火）（24名）

「土偶をつくろう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7月25日（木）（28名）

「土鈴・土笛をつくろう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7月21日（土）・7月26日（木）（53名）

「円筒埴輪をつくろう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7月27日（金）（21名）

「動物埴輪をつくろう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12月15日（土）・12月16日（日）（26名）

エ 自由研究相談窓口「調べてわかる埼玉古墳群」

7月21日（土）～8月31日（金）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37日（611名）

オ 古墳群ガイドツアー

4月1日（日）・5日（木）・28日（土）、5月6日（日）、9月15日（土）・・・・・・・・・・・・・5回（151名）

カ 企画展ガイドツアー

9月16日（日）・9月23日（日）・9月30日（日）・10月7日（日）・10月14日（日）・10月21日（日）
・10月28日（日）・11月4日（日）・11月11日（日）・・・・・・・・・・・・・9回（105名）

キ	最新出土品展ガイドツアー	
	7月8日(日)・7月15日(日)・7月22日(日)・8月5日(日)・8月12日(日)・8月19日(日)・8月26日(日)・9月2日(日)・・・・・・・・・・・・・	8回(135名)
ク	テーマ展ガイドツアー	
	4月29日(日)、5月27日(日)、2月24日(日)、3月31日(日)・・・・・・・・・・・・・	4回(47名)
ケ	古典の日記念事業 古墳群ガイドツアー「万葉歌碑を巡る」	
	11月3日(土)・・・・・・・・・・・・・	1回(9名)
コ	古墳キッズガイドツアー・・・・・・・・5月5日(土)・7月7日(土)・11月4日(日)・3月21日(木)	(79名)
サ	さきたま講座	
	世界遺産関連講座「ワカタケル大王の列島支配 一稲荷山・船山銘文から考える」 (国立歴史民俗博物館：仁藤 敦史氏)・・・・・・・・・・・・・	5月4日(金)(89名)
	考古学講座①「入門講座 ー1からわかる埼玉古墳群」 (当館職員：岡本 健一)・・・・・・・・・・・・・	6月9日(土)(94名)
	考古学講座②「火打金について考える ーその出現と展開ー」 (埼玉県立歴史と民俗の博物館：関 義則氏)・・・・・・・・・・・・・	7月14日(土)(60名)
	夏休み直前！子供講座「学芸員のお仕事 キミも古墳博士」 (当館職員：中井 歩)・・・・・・・・・・・・・	7月16日(月)(52名)
	考古学講座③「古墳出現ころの北武蔵 一塩古墳群の様相から考える」 (熊谷市教育委員会：新井 端氏)・・・・・・・・・・・・・	9月8日(土)(83名)
	企画展関連講座①「埼玉古墳群とその周辺の埴輪ー生産と流通ー」 (東京学芸大学教育学部教授：日高 慎氏)・・・・・・・・・・・・・	10月13日(土)(85名)
	企画展関連講座②「熊野神社古墳とその前後」 (前桶川市歴史民俗資料館長：橋本 富夫氏)・・・・・・・・・・・・・	11月10日(土)(83名)
	考古学講座④「久喜市小林八束1遺跡から考える縄文のマツリ」 (公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団：細田 勝氏)・・・・・・・・・・・・・	12月8日(土)(73名)
	考古学講座⑤「埼玉古墳群の広がり～地形と古墳の分布から見た埼玉古墳群の範囲～」 (行田市教育委員会：中島 洋一 氏)・・・・・・・・・・・・・	1月12日(土)(81名)
	考古学講座⑥「武蔵の渡来人」 (明治大学：酒井 清治 氏)・・・・・・・・・・・・・	2月16日(土)(84名)
	考古学講座⑦「埼玉の平安時代の土器生産 ー須恵器と土師器ー」 (公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団：富田 和夫 氏)・・・・・・・・・・・・・	3月9日(土)(72名)
シ	さきたま初心者子供ミニ講座・・・・・・・・・・・・・	7月14日(土)・1月12日(土)(19名)
ス	史跡探訪	
	史跡探訪①(行田市内の史跡を訪ねる)・・・・・・・・・・・・・	5月19日(土)(21名)
	史跡探訪②(県内の古墳を訪ねる)・・・・・・・・・・・・・	12月2日(日)(23名)
セ	県民の日記念行事	
	「さきたま秋祭り」(まが玉づくり・館内オリエンテーリングなど)・・・・・・・・・・・・・	11月14日(水)(2,803名)
ソ	出前授業	
	「なるほど！古墳時代」4月26日、5月8日・9日・11日・15日・16日・17日・18日・22日・29日・30日、 6月5日・6日・7日・11日・12日・21日・26日、7月3日・・・・・・・・・・・・・	21校(1,040名)
	「まが玉づくり」6月28日、7月5日、9月13日・28日、10月27日・28日、11月29日・・・・・・・・・・・・・	7校(159名)
	「行田中央小学校クールジャパン体験」10月30日(火)、11月27日(火)・・・・・・・・・・・・・	(23名)
タ	その他のアウトリーチ事業	
	「総合教育センター一般公開外部機関展示」10月13日(土)・・・・・・・・・・・・・	(365名)
チ	記念講演会「さきたま あれから これから」・・・・・・・・・・・・・	2月17日(日)(932名)
ツ	実習・研修会・報告会・見学会	
	○博物館学芸員実習	
	7月24日(火)・25日(水)・26日(木)・27日(金)・31日(火)、8月1日(水)・2日(木)・・・	7日間(9名)
	○遺跡発掘調査報告会・・・・・・・・・・・・・	7月29日(日)(127名)
	○二子山古墳発掘調査現地説明会・・・・・・・・・・・・・	2月2日(土)(314名)

○小・中学校初任者研修「みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修」

9月14日(金)・20日(木)・25日(火)・27日(木)・28日(金)、10月2日(火)・・・・・・・・(111名)

○中学校5年経験者研修・・・・・・・・・・・・・・・・9月6日(木)(65名)

○高等学校5年経験者研修・・・・・・・・・・・・・・・・11月14日(水)(1名)

○大学生社会体験活動・・・・・・・・8月11日(土)、9月29日(土)、11月14日(水)・23日(金)(3名)

○高校生就業体験・・・・・・・・9月12日(水)～14日(金)3日間(3名)

○県庁インターンシップ・・・・・・・・9月25日(火)～29日(土)5日間(3名)

テ 資料の貸出、利用など

利用方法 利用者	資料 貸出	フィルム 貸出	撮影	写真等 の転載	熟覧 その他	合計 (件数)
合計(件数)	44	195	24	0	47	310

(6) オリパラおもてなしミュージアム

ア 館内の多言語化

海外からの見学者に対応するため、館内の解説版等について多言語化を進めた。

イ 体験学習用具の製作

外国人来館者が日本の古代文化に触れられる体験学習用具を製作した。

ウ 音声ガイドの制作

多言語化に対応した国宝展示室の音声ガイドを制作した。

11 令和元年度(平成31年度)事業計画

埼玉古墳群、関連資料及び県内の考古資料の展示などを行い、利用者の郷土埼玉に対する一層の理解を深めると共に、古墳群の歴史的意義の解明と国指定史跡「埼玉古墳群」の保存と活用に努める。

(1) 展示事業

ア 常設展示

(a) 国宝展示室

国宝「武蔵埼玉稲荷山古墳出土品」を中心として、埼玉古墳群とその周辺の出土品の展示のほか、埼玉県の古墳文化を理解する上で必要な収蔵品等の関係資料を展示する。

・特別公開「稲荷山古墳出土金錯銘鉄剣復元品」

期間：12月3日(火)～令和2年2月16日(日)

内容：現代の名工達によって復元製作され、埼玉県に寄贈された「金錯銘鉄剣復元品」を2年ぶりに特別公開する。

(b) 将軍山古墳展示館

将軍山古墳頂上部分と中段に埴輪(復原模型)を並べ、築造当初の古墳の様子を復原するとともに、館内の横穴式石室内部に出土遺物(復原模型)を展示して、埋葬当時の様子を再現する。

イ 企画展示

(a) テーマ展「埼玉の平安―“兵”(つわもの)の目覚め―」

期間：4月1日(月)～6月9日(日)

内容：埼玉県教育委員会が所有している平安時代の資料を中心に、埼玉県の平安時代の特徴を分かりやすく紹介する。

(b) 最新出土品展「地中からのメッセージ」

(埼玉考古学会及び(公財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団との共催事業)

期間：7月6日(土)～9月1日(日)

内容：県内で平成30年度に発掘調査された遺跡で、特に注目されたものを選んで展示を行う。

※最新出土品展にあわせて遺跡発掘調査報告会を7月28日(日)に実施する。

(c) 企画展「徹底解剖!埼玉古墳群」

期間：9月14日(土)～11月14日(木)

内容：埼玉古墳群の出土品を各地の古墳出土の優品と比較しながら、埼玉古墳群の歴史的な位置づけを考える。

(d) ほるたま展 2019

期間：12月7日（土）～令和2年2月9日（日）

内容：県内の遺跡から出土した遺物の中から優品を紹介する。

(e) テーマ展「埼玉の中・近世（仮称）」

期間：2月22日（土）～3月31日（火）

内容：埼玉県教育委員会が保管する資料のうち、鎌倉時代から江戸時代までの主要な陶磁器や金属器等を紹介する。

ウ ギャラリー展示

埼玉古墳群や周辺の文化財について紹介するパネル展示。

(2) 調査研究事業

史跡に関する資料、その他の考古資料の調査研究を行う。特に、埼玉古墳群とその周辺の古墳時代の実態を明らかにするための調査研究を行う。

紀要第13号を刊行する。

(3) 資料の調査・収集・整理・保管事業

ア 資料の収集

埼玉古墳群及び県内の史跡等に関する資料を収集する。

イ 資料の保管・管理

国宝「武蔵埼玉稲荷山古墳出土品」等の保存・保管のため、隔月で収蔵庫・展示室等の有害生物生息状況調査を行う。また、下記の期間で有害生物防除を行う。

実施期間：6月18日（火）～19日（水）

(4) 埼玉古墳群の保存・整備事業

ア 保存・整備

史跡埼玉古墳群保存整備協議会の開催。

平成22年度から28年度に実施した鉄砲山古墳の発掘調査報告書の刊行。

奥の山古墳の追加指定地の整備工事。

(5) 広報・学習支援事業

ア さきたま古代体験（親子向け）

4月6日（土）・5月6日（月）・9月28日（土）・11月9日（土）・3月20日（金）「古代人に変身」

4月27日（土）・10月6日（日）・11月14日（木）「火おこしに挑戦」

イ さきたま古代体験「古代米くらぶ」 総合教育センター江南支所連携事業

6月1日（土）・7月27日（土）・10月26日（土）・11月30日（土）

ウ 子供製作体験

7月23日（火）「縄文土器をつくろう」

7月24日（水）「土偶をつくろう」

7月26日（金）「土偶をつくろう」

7月25日（木）「土鈴・土笛をつくろう」

12月8日（日）「ミニ埴輪をつくろう」

12月15日（日）「ミニ埴輪をつくろう」

エ 埼玉古墳群ガイドツアー（定員各30人）

4月4日（木）・4月7日（日）・9月16日（月）・3月28日（土）

オ 古墳キッズガイドツアー

4月29日（月）・5月5日（日）

カ 最新出土品展ガイドツアー

7月7日（日）・7月14日（日）・7月21日（日）・8月4日（日）・8月11日（日）・8月18日（日）
・8月25日（日）・9月1日（日）

- キ 企画展ガイドツアー
9月15日(日)・9月22日(日)・9月29日(日)・10月6日(日)・10月13日(日)・10月20日(日)
・10月27日(日)・11月3日(日)・11月10日(日)
- ク 古典の日記念事業 さきたま古墳群ガイドツアー「万葉歌碑を巡る」
11月2日(土)
- ケ テーマ展ガイドツアー
2月23日(日)・3月29日(日)
- コ さきたま講座(定員各70人)
6月8日(土) 考古学講座①「埼玉古墳群初心者向け講座」
青笹基史(当館職員)
7月13日(土) 考古学講座②「博物館で楽しむための縄文土器入門」
村田章人(当館館長)
9月14日(土) 考古学講座③「古墳時代の武器、武具から見える中央と地方(仮)」
滝沢誠氏(筑波大学准教授)
10月12日(土) 企画展関連講座①「埼玉古墳群の副葬品と東アジア(仮)」
内山敏行氏(とちぎ未来づくり財団埋蔵文化センター)
11月9日(土) 企画展関連講座②「埼玉古墳群をとりまく古墳群、北武蔵地域の動向(仮)」
塚田良道氏(大正大学教授)
12月14日(土) 考古学講座④(ほるたま展関連)「(内容未定)」
公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団職員
1月18日(土) 考古学講座⑤(ほるたま展関連)「(内容未定)」
公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団職員
2月8日(土) 考古学講座⑥「上円下方墳・山王塚古墳の調査(仮)」
藤田健一氏(川越市教育委員会文化財保護課)
3月14日(土) 考古学講座⑦「文献史学と考古学の接点 栗橋関所番士(仮)」
新井浩文(埼玉県立歴史と民俗の博物館)
- サ さきたま子供講座「学芸員のお仕事 キミも古墳博士」
7月15日(月)・1月25日(土)
- シ 連携事業(定員70人)
5月4日(土) 世界遺産関連講座「埼玉古墳群の歴史的意義」
佐藤信氏(東京大学名誉教授・人間文化研究機構理事)
- ス 史跡探訪
5月18日(土) 行田市内の史跡を訪ねる
12月7日(土) 県内の史跡を訪ねる
- セ 実習・研修会・報告会・見学会
9月19日(木)、9月26日(木)、9月27日(金)、10月1日(火)
「みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修(博学連携博物館利用研修会)」
9月12日(木) 「埼玉県中学校教員5年経験者研修」
7月23日(火)～26日(金)・30日(火)・31日(水)、8月1日(木)「博物館実習」
7月28日(日)「遺跡発掘調査報告会」
- ソ 県民の日記念行事
11月14日(木)「さきたま秋祭り」
- タ 出前授業
(a) 古墳時代に関する授業「なるほど!古墳時代」
行田市及び近隣市の小学校第6学年を対象に、実物の埴輪等を用い興味・関心を高め、古墳時代についての理解を深めることのできる授業を実施する。

- (b) まが玉づくり体験授業
行田市及び近隣市町村の小学校を対象に、まが玉づくりの体験授業を実施する。
- チ さきたま体験工房
 - (a) 「まが玉づくり（4月2日～3月31日）」・「ガラス玉づくり（2・3月の土・日曜日、計11回）」などの「体験コーナー」、図書・パソコンを使った考古学・文化財などの学習ができる「さきたま情報コーナー」などを活用した事業を実施する。
 - (b) 自由研究相談窓口「調べてわかる埼玉古墳群」（7月20日～8月31日）
展示や埼玉古墳群を夏休みの自由研究に活かす手伝いとなる相談を受け付ける。
- ツ 各種印刷物の刊行
『埼玉県立史跡の博物館紀要』第13号の刊行
令和2年度催物案内の作成
講座・講演会・体験学習等のテキスト作成
- (6) ボランティアの育成
体験学習や講座等の運営、国宝展示室の解説、環境整備などの支援能力を高めるためにボランティア研修や意見交換会を実施し、積極的なボランティアの活用を図る。
- (7) 関係団体との連携等
 - ア 埼玉県博物館連絡協議会への加盟
 - イ 関東地区博物館協会への加盟
 - ウ 日本博物館協会への加盟
 - エ 県政出前講座の受け入れ
 - オ 全国風土記の丘協議会への加盟
 - カ その他関係団体・民間企業との連携
- (8) 管理運営事業
 - ア 博物館施設の充実
古墳群の環境整備、博物館の整備・充実を進め、博物館、將軍山古墳展示館及び移築民家の積極的な活用を行う。
 - イ 公園施設の維持・管理
公園施設の適正な維持・管理を行うとともに、安全で安心な公園環境づくりに努め、県民に快適な歴史空間の場を提供する。
- (9) オリパラおもてなしミュージアム
 - ア 質が高く魅力的な企画展の開催
ラグビーワールドカップの開催時期とあわせて、関西・東海地方や群馬方面など各地の優品・名品も加えて、一段とグレードアップした企画展を開催する。
 - イ 体験学習用具の製作
外国人来館者が日本の古代文化に触れられる体験学習用具を制作し、積極的に活用する。
 - ウ 音声ガイドの制作
多言語化に対応した国宝展示室の音声ガイドを制作する。
- (10) 主体的・対話的で深い学びを実現する学校教育との連携強化
 - ア 主体的・対話的で深い学びを実現する出前授業の実施
児童生徒の学習意欲を高める教材提示の工夫や児童生徒が対話によって思考を深める問題解決場面を設定した授業を実施する。
 - イ 児童生徒の思考を促す博学連携教材の開発
さきたま史跡の博物館ならではの教材を開発し、授業での利用の方法とともに県内小中学校に提案する。
- (11) 地域教育機関・民間とのネットワークによる事業展開
 - ア 地域の教育機関との連携事業
県立総合教育センターや近隣市町村の図書館と連携し、研修や講座などの連携事業を展開する。
 - イ 地域の民間団体との連携事業
11月14日のさきたま秋祭りを中心に、地域の民間NPO団体等と協力し、埼玉古墳群の一層のアピールとインクルーシブの観点に立った社会づくりに参画する。
 - ウ 高校生ボランティアの積極的な受入
教育普及事業を中心に高校生ボランティアを積極的に受け入れ、高校生に活躍の場を提供するとともに、当館事業を一層充実させる。

12 入館者数等

(1) 平成30年度の状況

月別入館者数一覧

月	開館 日数	本館有料入館者数						小 計	共通券 入館者	無料入館者	入館者 総 計
		個 人		団 体		年間券売上数					
		一般	学生等	一般	学生等	一般	学生等				
4	26	3,471	83	209	5	3	0	3,771	2,249	4,086	10,106
5	27	4,046	139	418	19	2	0	4,624	2,799	5,733	13,156
6	24	1,829	46	1,028	8	3	0	2,914	1,639	9,573	14,126
7	27	2,334	93	1,128	13	3	0	3,571	1,867	4,911	10,349
8	28	3,362	171	667	12	0	0	4,212	2,346	4,298	10,856
9	27	2,429	76	434	2	4	0	2,945	1,609	5,412	9,966
10	27	2,461	45	856	1	2	0	3,365	2,091	4,892	10,348
11	27	2,458	56	792	1	1	0	3,308	3,605	4,480	11,393
12	25	1,368	50	156	1	2	0	1,577	956	1,188	3,721
1	25	1,859	34	120	1	8	0	2,022	1,202	1,083	4,307
2	25	1,649	60	237	4	2	0	1,952	1,830	1,305	5,087
3	27	2,632	126	320	26	14	0	3,118	1,852	2,058	7,028
計	315	29,898	979	6,365	93	44	0	37,379	24,045	49,019	110,443

小・中学校団体見学数地域別一覧

地 域	小 学 校		中 学 校	
	学校数	人 数	学校数	人 数
さいたま市	9	1,197	2	25
南 部	16	1,701	0	0
西 部	10	580	1	105
北 部	10	468	0	0
東 部	28	2,153	5	159
県 内 計	73	6,099	8	289
東 京 都	82	10,706	3	411
神奈川県	25	3,512	0	0
群馬県	3	309	1	21
栃木県	10	978	0	0
茨城県	3	242	0	0
千葉県	0	0	0	0
静岡県	5	664	0	0
県 外 計	128	16,411	4	432
合 計	201	22,510	12	721

月別無料入館者数内訳

月	小学生	中学生	その他	計
4	2,313	571	1,202	4,086
5	4,247	266	1,220	5,733
6	8,060	113	1,400	9,573
7	3,722	123	1,066	4,911
8	2,755	483	1,060	4,298
9	4,124	72	1,216	5,412
10	3,810	143	939	4,892
11	3,092	269	1,119	4,480
12	758	52	378	1,188
1	544	52	487	1,083
2	626	85	594	1,305
3	1,069	165	824	2,058
合 計	35,120	2,394	11,505	49,019

(2) 年度別入館者数内訳

年度	開館 日数	個 人		団 体		小計	共通券 入館者	無 料 入館者	入館者 総 計
		一般	学生等	一般	学生等				
昭和44	120	3,660	2,837	2,499	962	9,958	0	8,853	18,811
45	295	9,759	5,975	3,881	1,604	21,219	0	21,907	43,126
46	297	9,220	5,774	4,610	3,637	23,241	0	27,949	51,190
47	296	10,862	5,930	5,466	3,897	26,155	0	38,372	64,527
48	294	11,771	7,071	4,440	3,372	26,654	0	45,698	72,352
49	292	13,418	7,152	5,830	4,771	31,171	0	56,347	87,518
50	295	12,254	6,354	4,755	3,733	27,096	0	54,842	81,938
51	294	13,196	6,839	4,905	4,294	29,234	0	57,020	86,254
52	294	16,152	8,016	6,088	4,953	35,209	0	74,277	109,486
53	296	42,657	16,236	13,644	6,770	79,307	0	99,729	179,036
54	288	46,589	18,566	19,944	11,319	96,418	0	107,636	204,054
55	284	50,916	19,733	15,556	8,629	94,834	0	89,025	183,859
56	281	49,050	17,611	18,348	9,869	94,878	0	110,371	205,249
57	291	45,052	17,537	15,191	10,685	88,465	0	112,165	200,630
58	292	45,352	17,487	15,083	5,793	83,715	0	126,704	210,419
59	293	41,648	16,251	12,643	5,021	75,563	0	122,557	198,120
60	294	42,416	16,619	11,086	3,808	73,929	0	105,125	179,054
61	293	45,705	17,330	10,860	3,864	77,759	0	106,308	184,067
62	295	44,059	15,650	11,528	2,967	74,204	0	99,920	174,124
63	290	42,593	14,097	13,851	4,199	74,740	0	87,847	162,587
平成元	291	45,506	14,302	9,093	2,485	71,386	0	94,920	166,306
2	293	46,744	13,726	9,190	2,047	71,707	0	93,298	165,005
3	293	46,693	12,760	7,294	1,554	68,301	0	97,334	165,635
4	292	45,060	12,042	8,763	1,214	67,079	0	90,342	157,421
5	291	41,463	10,967	5,091	956	58,477	0	86,141	144,618
6	291	35,379	8,862	3,578	803	48,622	0	87,144	135,766
7	294	33,062	1,655	3,097	437	38,251	0	102,377	140,628
8	293	33,462	1,869	2,336	178	37,845	0	114,978	152,823
9	294	43,637	1,842	2,153	316	47,948	18,671	149,682	216,301
10	293	34,378	1,558	2,631	165	38,732	15,134	113,405	167,271
11	293	29,992	1,314	2,035	250	33,591	13,594	104,683	151,868
12	296	26,173	1,199	2,279	142	29,793	12,085	90,284	132,162
13	298	26,449	1,292	2,341	99	30,181	13,081	84,215	127,477
14	298	25,928	1,083	1,758	205	28,974	12,698	73,800	115,472
15	297	27,915	1,169	1,858	41	30,983	12,236	75,653	118,872
16	298	23,123	1,007	1,346	41	25,517	10,993	62,250	98,760
17	301	23,415	862	1,184	127	25,588	12,060	64,604	102,252
18	312	22,633	1,213	1,795	51	25,692	11,774	67,539	105,005
19	316	20,496	991	1,364	16	22,867	10,204	66,966	100,037
20	313	27,866	1,004	1,272	196	30,338	15,670	65,347	111,355
21	314	26,577	1,005	1,330	96	29,008	14,253	68,570	111,831
22	311	23,323	1,008	2,931	26	27,288	12,256	61,923	101,467
23	313	21,247	885	3,693	162	25,987	11,919	54,037	91,943
24	314	25,161	1,068	3,362	107	29,698	14,716	69,276	113,690
25	313	29,544	987	7,246	87	37,864	18,587	54,554	111,005
26	314	31,837	1,212	7,953	81	41,083	21,158	51,476	113,717
27	313	33,129	1,228	7,680	154	42,191	22,159	50,937	115,287
28	313	34,170	1,160	8,136	74	43,540	23,702	55,128	122,370
29	313	31,139	1,064	7,327	81	39,611	18,921	49,081	107,613
30	315	29,942	979	6,365	93	37,379	24,045	49,019	110,443
累 計		1,541,772	344,378	326,689	116,431	2,329,270	339,916	3,901,615	6,570,801

13 展示解説・ボランティア活動等

(1) 平成 30 年度の状況

一般団体解説

月	団体数	人 数
4	7	93
5	10	293
6	12	366
7	9	165
8	1	25
9	8	207
10	19	686
11	22	672
12	1	41
1	0	0
2	1	14
3	3	95
計	93	2,657

レファレンス件数

月	件 数
4	19
5	27
6	26
7	6
8	39
9	24
10	21
11	22
12	7
1	21
2	26
3	16
計	254

ボランティア活動

月	人 数
4	168
5	123
6	112
7	81
8	110
9	80
10	112
11	102
12	62
1	54
2	52
3	88
計	1,144

学校団体解説

月	団体数	人 数
4	2	56
5	8	557
6	15	1,369
7	4	341
8	0	0
9	1	107
10	6	610
11	4	219
12	1	53
1	0	0
2	0	0
3	3	46
計	44	3,358

工房利用者（勾玉づくり）

月	工房利用者数	勾玉(学校)	勾玉(一般)	勾玉づくり計
4	2,462	239	510	749
5	2,621	448	617	1,065
6	2,488	586	277	863
7	2,428	0	817	817
8	3,486	0	1663	1,663
9	2,006	243	454	697
10	2,066	353	262	615
11	1,959	128	613	741
12	1,015	51	134	185
1	833	0	198	198
2	1,031	29	177	206
3	1,337	91	198	289
計	23,732	2,168	5,920	8,088

14 関係刊行物

「資料館報」No. 1（昭和 45 年）～No. 36（平成 17 年）	
「調査研究報告」第 1 号（昭和 63 年）～第 19 号（平成 17 年）	
「さきたま古墳群とその周辺」	（昭和 51 年 3 月）
「さきたま民俗暦」	（昭和 52 年 3 月）
「稲荷山古墳出土鉄剣金象嵌銘概報」	（昭和 54 年 2 月）
「八幡山古墳石室復原報告書」	（昭和 55 年 3 月）
「埼玉稲荷山古墳」	（昭和 55 年 11 月）
「埼玉稲荷山古墳辛亥銘鉄剣修理報告書」	（昭和 57 年 3 月）
「北武蔵の農具」	（昭和 60 年 1 月）
「埼玉古墳群発掘調査報告書第二集 鉄砲山古墳」	（昭和 60 年 3 月）
「埼玉古墳群発掘調査報告書第三集 愛宕山古墳」	（昭和 60 年 3 月）
「史跡埼玉古墳群保存修理事業報告書 稲荷山古墳」	（昭和 60 年 3 月）
「埼玉古墳群発掘調査報告書第四集 瓦塚古墳」	（昭和 61 年 3 月）
展示ガイド「さきたま古墳群と北武蔵の農具」	（昭和 61 年 3 月）
絵はがき「稲荷山古墳」	（昭和 61 年 3 月）
「歴史の道 調査報告書第七集 荒川の水運」	（昭和 62 年 3 月）
「歴史の道 調査報告書第八集 新河岸川の水運」	（昭和 62 年 3 月）
「埼玉古墳群発掘調査報告書第五集 二子山古墳」	（昭和 62 年 3 月）
「歴史の道 調査報告書第九集 入間川の水運」	（昭和 63 年 3 月）
「埼玉古墳群発掘調査報告書第六集 丸墓山古墳・埼玉 1～7 号墳・将軍山古墳」	（昭和 63 年 3 月）
88 さいたま博覧会協賛特別展図録 「はにわ人の世界」	（昭和 63 年 3 月）
第 4 回国民文化祭 さいたま 89 協賛特別展図録「さきたま古墳群とその時代」	（平成元年 10 月）
「歴史の道 調査報告書第十集 利根川の水運」	（平成元年 3 月）
「埼玉古墳群発掘調査報告書第七集 奥の山古墳・瓦塚古墳・中の山古墳」	（平成元年 3 月）
第 1 回さいたま芸術文化祭協賛 さきたま風土記の丘企画展展示 解説書「古墳の年代をはかる 一須恵器一」	（平成 2 年 10 月）
第 2 回さいたま芸術文化祭協賛 さきたま風土記の丘企画展展示 解説書「くらしの中の神々」	（平成 3 年 10 月）
「埼玉古墳群発掘調査報告書第八集 二子山古墳・瓦塚古墳」	（平成 4 年 3 月）
展示ガイド 「さきたまの古墳」	（平成 4 年 3 月）
第 3 回さいたま芸術文化祭協賛 さきたま風土記の丘企画展展示 解説書「さきたま将軍山古墳と銅鏡」	（平成 4 年 10 月）
彩の国元年 さいたま芸術文化祭協賛 さきたま風土記の丘企画展展示 解説書「キツネは踊る～お米がたくさんとれますように～」	（平成 5 年 9 月）
「埼玉県古墳詳細分布調査報告書」	（平成 6 年 3 月）
展示ガイド「さきたまの古墳と民俗」	（平成 7 年 3 月）
将軍山古墳 《史跡埼玉古墳群整備事業報告書》 「確認調査編・付編」及び「保存・整備工事編」	（平成 9 年 3 月）
将軍山古墳整備事業完成記念企画展図録 「古墳時代の馬の装い ーさきたまに馬がやってきた！ー」	（平成 9 年 10 月）
ガイドブック「さきたま」	（平成 10 年 3 月）
稲荷山古墳群発掘調査 30 周年・金錯銘発見 20 周年記念事業特別展 図録「古代金石文と倭の五王の時代」	（平成 10 年 10 月）
稲荷山古墳群発掘調査 30 周年・金錯銘発見 20 周年記念事業特別展 シンポジウム資料「ここまでわかった！稲荷山古墳」	（平成 10 年 11 月）
特別展図録「吉見の百穴と東日本の横穴墓」	（平成 19 年 1 月）
武蔵埼玉稲荷山古墳発掘調査・保存整備事業報告書	（平成 19 年 3 月）
史跡埼玉古墳群保存整備基本計画 「館報」No. 1（平成 18 年）～No. 13（平成 30 年）	（平成 19 年 3 月）

「埼玉県立史跡の博物館紀要」創刊号	(平成 19 年 3 月)
「埼玉県立史跡の博物館紀要」第 2 号	(平成 20 年 3 月)
「埼玉県立史跡の博物館紀要」第 3 号	(平成 21 年 3 月)
図録「「稲荷山」出現以前の古墳」	(平成 22 年 3 月)
「埼玉県立史跡の博物館紀要」第 4 号	(平成 22 年 3 月)
図録「祈りとまじないの考古学」	(平成 22 年 10 月)
「埼玉県立史跡の博物館紀要」第 5 号	(平成 23 年 3 月)
図録「スローフードの考古学 ～生活を支えた食と生業～」	(平成 23 年 10 月)
「埼玉県立史跡の博物館紀要」第 6 号	(平成 24 年 3 月)
図録「原始・古代の職人集団」	(平成 24 年 9 月)
「埼玉県立史跡の博物館紀要」第 7 号	(平成 25 年 3 月)
図録「古代の豪族～将軍山古墳とその時代～」	(平成 25 年 9 月)
「シンポジウム 埼玉古墳群の謎～東国をおさめた古代豪族～」資料集	(平成 26 年 1 月)
「史跡埼玉古墳群奥の山古墳発掘調査・保存整備事業報告書」	(平成 26 年 1 月)
図録「ハニワの世界」	(平成 26 年 9 月)
「埼玉県立史跡の博物館紀要」第 8 号	(平成 27 年 3 月)
図録「古墳の終焉と律令時代の幕開け」	(平成 27 年 9 月)
「埼玉県立史跡の博物館紀要」第 9 号	(平成 28 年 3 月)
図録「埼玉の古墳 1 ー比企・入間ー」	(平成 28 年 9 月)
「埼玉県立史跡の博物館紀要」第 10 号	(平成 29 年 3 月)
図録「埼玉の古墳 2 ー秩父・児玉・大里ー」	(平成 29 年 9 月)
「史跡埼玉古墳群 総括報告書Ⅰ」	(平成 30 年 1 月)
「埼玉県立史跡の博物館紀要」第 11 号	(平成 30 年 3 月)
図録「埼玉の古墳 3 ー北足立・北埼玉・南埼玉・北葛飾ー」	(平成 30 年 9 月)
「史跡埼玉古墳群 稲荷山古墳礫櫛模型設置事業報告書」	(平成 31 年 1 月)
記念講演会「さきたま あれから これから」資料集	(平成 31 年 2 月)
史跡埼玉古墳群保存活用計画	(平成 31 年 3 月)
「埼玉県立史跡の博物館紀要」第 12 号	(平成 31 年 3 月)

15 企画展等

企画展「吉見の百穴と東日本の横穴墓」	(平成 18 年度)
最新出土品展、企画展「考古学で学ぶ動物とのかかわり」	(平成 19 年度)
最新出土品展、企画展「古墳時代の優品」	(平成 20 年度)
最新出土品展、企画展「稲荷山出現以前の古墳」	(平成 21 年度)
最新出土品展、企画展「祈りとまじないの考古学」、テーマ展「さきたまのハニワたち」	(平成 22 年度)
最新出土品展、企画展「スローフードの考古学」、テーマ展「埼玉・あの遺跡この遺跡」	(平成 23 年度)
最新出土品展、企画展「原始古代の職人集団」、テーマ展「埼玉の原始・古代」	(平成 24 年度)
最新出土品展、企画展「古代の豪族」、テーマ展「形と文様」	(平成 25 年度)
最新出土品展、企画展「ハニワの世界」、テーマ展「縄文の不思議な世界」	(平成 26 年度)
最新出土品展、企画展「古墳の終焉と律令時代の幕開け」、 新収蔵品展「～旧長瀬総合博物館からの寄贈資料～」	(平成 27 年度)
最新出土品展、企画展「埼玉の古墳 1 ー比企・入間ー」、 テーマ展「弥生の空間 ー実りと祈りー」	(平成 28 年度)
最新出土品展、企画展「埼玉の古墳 2 ー秩父・児玉・大里ー」、 テーマ展「律令国家がやってきた！」	(平成 29 年度)
最新出土品展、企画展「埼玉の古墳 3 ー北足立・北埼玉・南埼玉・北葛飾ー」、 テーマ展「埼玉の平安ー兵の目覚めー」	(平成 30 年度)

16 利用案内

(1) 博物館関係

ア 開館時間

(ア) 下記以外は、午前9時～午後4時30分。(入館受付は、午後4時まで。)

(イ) 7月1日～8月31日は、午前9時～午後5時。(入館受付は、午後4時30分まで。)

イ 休館日

(ア) 月曜日(その日が国民の祝日、振替休日、県民の日又は4月29日～5月5日である場合を除く。)

(イ) 年末年始(12月29日～1月3日)

ウ 観覧料等

(ア) 観覧料(本館及び將軍山古墳展示館共通)

区 分	個 人	団体(20人以上)	年間観覧券
一般	200 円	1 人につき 120 円	1,200 円
学生・生徒(高校生)	100 円	1 人につき 60 円	600 円

※ 義務教育終了前の方は、無料です。

※ 身体障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者(障害者1人につき1人)は、無料です。

※ 教育課程に基づく学習活動として観覧(幼稚園、保育所を含む。)する学生・生徒・引率者及び下見見学者は、無料です。

※ 調査を目的として観覧する方及び研修会の引率者は、無料です。

※ 埼玉県(教育委員会を含む。)が主催する職員対象の研修会等の参加者は、無料です。

※ 年間観覧券で、県立嵐山史跡の博物館にも入館できます。

(イ) 特別利用料金

熟 覧	1 点 1 日につき	1,230 円	模写・模造	1 点 1 日につき	2,460 円
撮 影	1 点カットにつき	4,110 円	原版使用	1 点につき	3,080 円

※ びょうぶは、1 隻を 1 点、一揃いをなす卷子は、1 巻を 1 点、掛軸は、一幅を 1 点とし、その他の資料は、各個を 1 点とします。

※ 国・県・市町村等が主催する文化、教育に係わる事業等の場合は、免除又は減額となります。

(2) 公園施設関係(7 ページ図参照)

埼玉県都市公園条例等により、次のとおり定められています。

ア 利用手続

「物品の販売、興業その他の営業行為をする」「業として写真又は映画等を撮影する」等の行為をするには、埼玉県都市公園条例第9条第1項により、知事の許可が必要です。また、同条第3項では、「許可に係る行為を付することができる」と定められていますので、許可条件をお守りの上、御利用ください。

なお、公園内は、文化庁から史跡に指定されていますので、穴を掘る行為や表土を傷付ける行為はできませんので、御注意ください。

イ 利用料金(入場料又はこれに類するものを徴収しない場合)

物品の販売その他の営業行為をする場合	1 m ²	半日	7 円	1 日	14 円
興行を行う場合	1 m ²	半日	8 円	1 日	17 円
業として写真を撮影する場合	1 件	半日	360 円	1 日	730 円
業として映画等の撮影を行う場合	1 件	半日	14,600 円	1 日	29,300 円

※ 埼玉県都市公園に関する規則別表第1の抜粋です。

・交通案内

- JR 高崎線「吹上」駅下車、朝日バス「佐間經由行田折返し場・総合教育センター・工業団地」行きに乗車、「産業道路」下車、徒歩 15 分。
- 秩父鉄道「行田市」駅下車、「新町 1 丁目」から朝日バス「佐間經由吹上駅」行きに乗車、「産業道路」下車、徒歩 15 分。
- JR 高崎線「行田」駅下車、市内循環バス(1 日 8 便「観光拠点循環コース」)「JR 行田駅前」から「埼玉古墳公園前」下車、徒歩 2 分。
- JR 高崎線「北鴻巣」駅下車、さきたま緑道 4.8 km。





埼玉県のマスコットコバトン

館 報 第 14 号

令和元年 6 月 1 5 日 刊行

埼玉県立さきたま史跡の博物館

〒361-0025 埼玉県行田市埼玉 4 8 3 4

TEL 048-559-1111 (総務)

048-559-1181 (学芸)

FAX 048-559-1112

<http://www.sakitama-muse.spec.ed.jp>

E-mail:k591111@pref.saitama.lg.jp